



| 令和元年9月12日(木)岐阜県発表資料 | | | |
|---------------------|-------|-------|--|
| 担当課 | 担当 | 担当者 | 電話番号 |
| 農産物流通課 | 管理調整監 | 中畑 和彦 | 内線 2861 直通 058-272-8436 FAX 058-278-2692 |
| 海外戦略推進課 | 課長 | 寺島 禎見 | 内線 2350 直通 058-272-8173 FAX 058-278-2603 |

訪問1-2日目(9月10~11日・メルボルン)

メルボルンにおいて飛騨牛プロモーションを実施し、 ブランド力向上に向け、大きな一歩！

古田知事は、9月10日(火)にオーストラリア入りし、翌11日(水)には、昨年度飛騨牛の取り扱いを開始したメルボルンにおいて、飛騨牛の認知度と流通の更なる拡大を目指すプロモーション等を行いました。

(有名料理学校における飛騨牛アカデミー視察)

まず、オーストラリア最大級の有名料理学校である「ウィリアム・アングリス・インスティテュート」を訪問し、知事はデール・リーマン講師長案内のもと、「飛騨牛アカデミー」を視察しました。同アカデミーでは、シェフを目指す未来ある学生たちを対象に実施した特別授業や、シェフ対象のカッティングセミナーが実施され、学生の代表者からは「初めて飛騨牛を触ったが、肉質の高さに驚いた。とても勉強になる1日だった」といった意見が出るなど、高く評価されました。

(大手食肉卸売業者との覚書締結式)

引き続き、飛騨牛の一層のブランド力向上のため、大手食肉卸売業者「グローバル・ミート社」と飛騨牛のPR等に関する覚書締結式を行いました。締結式では、同社のトニー・マンダリティ代表は、「40年間牛肉を取り扱ってきたが、飛騨牛ほど素晴らしい牛肉に出会ったことがない。これからも販路開拓に取り組みたい」という発言があり、知事は「今後もぜひ継続的な取扱いをお願いしたい。」と伝えました。

(飛騨牛海外推奨店認定式)

その後、夜には、オーストラリアで最も多くの飛騨牛を取り扱う高級レストラン「NOBU」(ノブ)を訪問し、飛騨牛海外推奨店として、知事からクラウンメルボルン(同レストラン経営会社)のフード&ビバレッジマネージャーであるレイ・ポタス氏へ銘板の授与を行いました。知事から飛騨牛の取扱いやこのたび飛騨牛海外推奨店となることへの謝意を伝えたところ、ポタス氏は、「飛騨牛はお客様からの評価が大変良い。和牛の中でも最高級の飛騨牛

を扱えることに、スタッフ一同やりがいを感じている」と語りました。

【9月11日概要】

(1) 有名料理学校における飛騨牛アカデミー視察

(2) 大手食肉卸売業者との覚書締結式

(3) 飛騨牛海外推奨店認定式

(1) 有名料理学校における飛騨牛アカデミー視察

○日 時

令和元年9月11日(水) 15:00～15:30(現地時間(以下同じ))

○場 所

ウィリアム・アングリス・インスティテュート

○出席者

<相手方>

デール・リーマン ウィリアム・アングリス・メルボルン校講師長

マーク・ノーモイル 飛騨牛アカデミー講師(特別授業担当)

荒金 育英 飛騨牛アカデミー講師(特別授業担当)

武村 一夫 飛騨牛アカデミー講師(カッティングセミナー担当)

<受講生>

同校学生 約35名(特別授業)

現地レストランシェフ等約100名(カッティングセミナー)

<総領事館>

松永 一義 総領事

<岐阜県関係者>

[県] 知事、観光国際局長、農政部長、観光国際戦略アドバイザー

[県議会] 副議長、玉田議員

[民間] 岐阜県農林水産物輸出促進協議会会長、JA岐阜中央会会長、JA全農岐阜会長・本部長、JAめぐみの組合長、JA飛騨ミート参事

(2) 大手食肉卸売業者との覚書締結式

○日 時

令和元年9月11日(水) 15:30～16:30

○場 所

ウィリアム・アングリス・インスティテュート

○出席者

<相手方>

グローバル・ミート社 トニー・マンダリティ代表

<総領事館>

松永 一義 総領事

<岐阜県関係者>

- [県] 知事、観光国際局長、農政部長、観光国際戦略アドバイザー
[県議会] 副議長、玉田議員
[民間] 岐阜県農林水産物輸出促進協議会会長、J A岐阜中央会会長、J A全農岐阜会長・本部長、J Aめぐみの組合長、J A飛騨ミート参事

(3) 飛騨牛海外推奨店認定式

○日 時

令和元年9月11日(水) 18:15~18:30

○場 所

日本食レストラン「NOBU」

○出席者

<相手方>

レイ・ポタス クラウンメルボルン(NOBU経営会社)フード&ビバレッジマネージャー

<総領事館>

松永 一義 総領事

<現地関係者>

トニー・マンダリティ グローバル・ミート社代表

デール・リーマン ウィリアム・アングリス・メルボルン校講師長

マーク・ノーモイル 飛騨牛アカデミー講師

武村 一夫 飛騨牛アカデミー講師

現地メディア 4名

森山 篤志 J A全農インターナショナル畜産部長

<岐阜県関係者>

- [県] 知事、観光国際局長、農政部長、観光国際戦略アドバイザー
[県議会] 副議長、玉田議員
[民間] 岐阜県農林水産物輸出促進協議会会長、J A岐阜中央会会長、J A全農岐阜会長・本部長、J Aめぐみの組合長、J A飛騨ミート参事

【参考】オーストラリアで初めて、飛騨美濃じまん海外戦略プロジェクトを展開！

岐阜県では、本県の魅力、観光・食・モノを『岐阜県ブランド』として一体的にPRし、海外からの観光客の誘客や県産品の市場開拓・販路拡大を図るため、「飛騨美濃じまん海外戦略プロジェクト」を展開しています。

今回は、昨年牛肉輸入が解禁となったオーストラリアにおいて、初めて「清流の国ぎふ」の観光・食・モノを三位一体でPRするため、知事が下記の日程でオーストラリアを訪問します。

【日 程】

令和元年9月10日（火）～9月15日（日） 5泊6日

【目 的】

オーストラリアにおける「清流の国ぎふ」の観光・食・モノの三位一体でのPR

【主な内容（知事日程）】

<メルボルン>

- ・有名料理学校における飛騨牛調理講習会視察
- ・大手食肉卸売業者との覚書締結式
- ・飛騨牛海外推奨店認定式

<キャンベラ>

- ・在オーストラリア日本国大使との懇談
- ・オーストラリア農業大臣との面談

<シドニー>

- ・旅行会社、現地メディア等を対象とした岐阜県プロモーション出席
（第一部）観光セミナー
（第二部）観光・食・地場産品PRレセプション
- ・岐阜鮎海外推奨店認定式
- ・飛騨牛海外推奨店認定式
- ・グローバル・アンテナショップ候補店（現地セレクトショップ）訪問

【主な参加予定者】

県 議 会 水野 正敏 副議長、玉田 和浩 議員（以上、全行程）、
平岩 正光 議員、伊藤 秀光 議員、野島 征夫 議員、小原 尚 議員、
松岡 正人 議員、山本 勝敏 議員（以上、シドニー）

市 町 村 美濃市 武藤 鉄弘 市長、古田 豊 市議会議長（シドニー）
美濃加茂市 高橋 洋子 副市長（シドニー）

民 間 等 岐阜県農林水産物輸出促進協議会、世界農業遺産「清流長良川の鮎」推進協
議会、岐阜県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会岐阜県本部、飛
騨ミート農業協同組合連合会、めぐみの農業協同組合（以上、全行程）
清流の国ぎふ花き戦略会議、刃物屋三秀、穂高荘、株式会社三輪酒造、小町酒
造株式会社、合資会社山田商店、岩村醸造株式会社、天領酒造株式会社（以上、
シドニー）

9月11日分の写真

(1) 有名料理学校における飛騨牛アカデミー視察



(2) 大手食肉卸売業者との覚書締結式



【左から、グローバル・ミート社 トニー・マンダリティ代表、古田知事】

(3) 飛騨牛海外推奨店認定式



【左から、水野副議長、古田知事、クラウンメルボルン（NOBU経営会社）フード&ビバレッジマネージャー レイ・ポタス氏、JA全農岐阜（飛騨牛銘柄推進協議会）足立会長】